

宮崎県鰹部会との意見交換会

2014年から毎年恒例となっている宮崎かつお船団の漁労長との意見交換会を本年においても12月21日に宮崎市内で開催した。

本年の本県かつお一本釣り船については、ビンチョウマグロが豊漁であったこともあり、数量・金額ともに増加となり、更には宮崎船団から JF 南郷所属の 竜喜丸 が本県初の漁獲量日本一となり輝かしい年でもあった。

一方で、世界情勢の不安定な影響を受けて原油が高騰し、燃油価格が依然として漁家経営を圧迫していること等の現状について各漁長から発出された。

このことを受けて本会は、今後様々な課題や懸念事項の更なる構築を目指し、本県かつお一本釣り船をはじめとするすべての漁業者の存続と負託に役立てていきたい。

結びに、新年の大漁と航海の安全をお祈り申し上げます。

